



2025年2月7日

各 位

会 社 名 株式会社ブロードバンドタワー  
代 表 者 名 代表取締役 法務・経理統括 中川 美恵子  
(コード番号 3776 東証スタンダード市場)  
(TEL. 03 - 5202- 4800 代)

特別損失の計上および  
通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2024年12月期（2024年1月1日～2024年12月31日）決算において、下記のとおり、特別損失を計上するとともに、2024年8月7日に公表しました通期業績予想における連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 投資有価証券評価損について

当社の連結子会社であるGiTV株式会社が組成しているGiTV Fund I Investment, L.P.が保有する非上場株式の時価評価を行った結果、連結業績の特別損失として投資有価証券評価損221百万円を計上いたしました。

2. 固定資産の減損損失について

急速なデジタル化の進展に伴い、市場におけるデータセンターの需要が増加する一方、近年ではデータセンター側に求められる設備や仕様にも、お客様のニーズを踏まえたハイスペック化が求められる等、変化が生じております。このような環境変化を踏まえ、競争力の向上を目的に、既存設備の整理・集約を実施いたしました。これに伴い、今後の収益性について会計基準に則り、設備投資の回収が困難であると判断した一部のデータセンター（東京都千代田区、東京都江東区、東京都目黒区）等に関連する建物、機械及び装置、工具、器具及び備品等に対し減損処理を行い、連結業績および個別業績の特別損失として減損損失197百万円を計上いたしました。

### 3. 通期連結業績予想値と実績値に差異が生じた理由について

前述の通り、特別損失は計上したものの、コンピュータプラットフォーム事業およびメディアソリューション事業の収益性改善により、連結業績における営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益が予想値を上回ったことにより、差異が発生いたしました。

差異の理由は、連結業績の営業利益は、コンピュータプラットフォーム事業におけるネットワークサービスの利益面での寄与及びデータセンター関連の売上原価の減少、メディアソリューション事業における販管費等の減少によるもので、経常利益においては、営業利益の増加の他、投資事業組合運用益等の営業外収益が増加したことで、営業利益及び経常利益ともに予想値を上回りました。また、特別損失として固定資産減損損失および投資有価証券評価損を計上したものの、親会社株主に帰属する当期純利益は予想値を上回りました。連結業績予想値との差異は、次の通りであります。

#### 2024年12月期 通期連結業績予想値と実績値との差異（2024年1月1日より12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,250	500	610	310	5.06
実績値 (B)	13,423	668	889	404	6.59
増減額 (B-A)	173	168	279	94	1.53
増減率	1.3%	33.6%	45.7%	30.3%	
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期)	13,243	△84	△152	99	1.63

なお、通期個別業績につきましては、予想値と実績値との間で、大きな差異は生じておりませんので、省略させていただきます。

以上